

# 市町村別の調査結果

## 正答率分布グラフについて

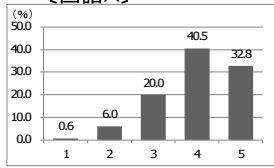
- ※ グラフは、児童生徒の正答率分布グラフです。
- ※ 横軸は、正答率を5段階に分けて示しています。  
1 : 0%~20%未満, 2 : 20%~40%未満, 3 : 40%~60%未満,  
4 : 60%~80%未満, 5 : 80%~100%
- ※ 縦軸は、各段階の児童生徒数の割合を示しています。
- ※ ただし、正答者数を四捨五入して割合としているため、若干の誤差が生じています。

【別紙様式】

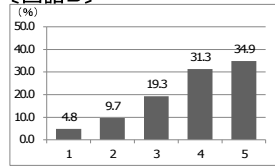
平成27年度全国学力・学習状況調査結果について  
(正答率分布グラフ, 課題, 改善策)

鹿児島市教育委員会

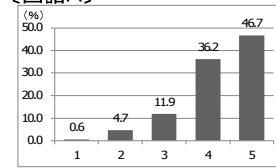
【小学校】  
〔国語A〕



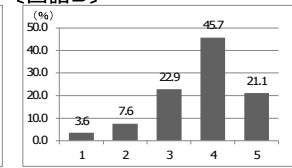
〔国語B〕



【中学校】  
〔国語A〕



〔国語B〕



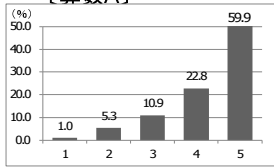
〈課題〉

- 5段階の分布状況については、全国とほぼ同じ傾向が見られるが、上位層を更に伸ばす必要がある。
- 文中における主語と述語、修飾の関係について、全学年を通して理解の定着を図る必要がある。
- 文章と図やグラフなどを関係付けて、自分の考えを書くことに課題がある。

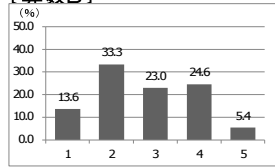
〈課題〉

- 5段階の分布状況については、全国とほぼ同じ傾向が見られるが、上位層を更に伸ばす必要がある。
- 伝えたい事柄が明確になるように文章の構成を考えることに課題がある。
- 複数の資料から適切な情報を得て、自分の考えを具体的に書くことについては改善されているが、依然として課題がある。

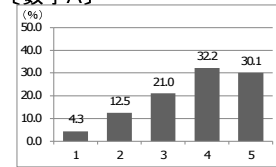
〔算数A〕



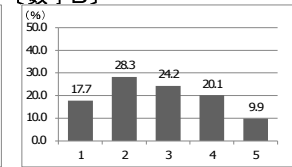
〔算数B〕



〔数学A〕



〔数学B〕



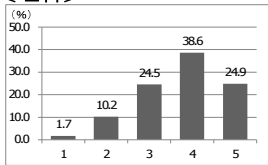
〈課題〉

- 5段階の分布状況については、全国とほぼ同じ傾向が見られるが、B問題において、下位層を引き上げる必要がある。
- 計算処理について、図や半具体物の操作と関連付けて理解することに課題がある。
- 図形の作図方法について、その約束や性質等を活用して、判断したり、説明したりすることに課題がある。

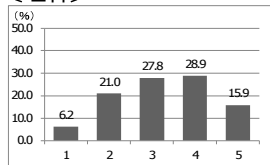
〈課題〉

- 5段階の分布状況については、全国とほぼ同じ傾向に見られるが、B問題において、下位層を引き上げる必要がある。
- 垂線の作図や確率など、これまでも課題であった内容について改善が見られないため、指導を徹底する必要がある。
- 図やグラフから分かることを読み取り、論理的に考え、説明することに課題がある。

〔理科〕



〔理科〕



〈課題〉

- 5段階の分布状況については、全国とほぼ同じ傾向が見られるが、上位層がやや多い。
- 条件を制御して実験を企画したり、科学的な概念を適用して、身近な事象に関する問題を考えたりすることに課題がある。
- 観察記録や実験結果から必要な情報を読み取り、考察することに課題がある。

〈課題〉

- 5段階の分布状況については、全国とほぼ同じ傾向が見られるが、下位層を引き上げる必要がある。
- 調べる条件を変えて対照実験を計画することに課題がある。
- 実験結果を分析、解釈し規則性を見出したり、その要因について考察したりすることに課題がある。

【改善策】

○ 今後、各学校において、以下の学力向上策が実施できるようにする。

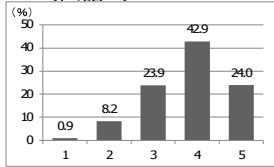
- 〔小学校〕(国語科) ・主語・述語等の文法事項の習得に必要な時間の設定や、5・6年での反復学習の機会の位置付け  
 ・具体的な事例を挙げて説明する文章を書く学習活動の工夫
- (算数科) ・式や計算方法の意味を、数直線などの図や表と関連付けて説明できるようにする指導の徹底
- (理科) ・日常生活と関連のある学習課題の設定や解決方法を比較したり、分析したりする話し合い活動の充実  
 ・学習内容と関連の深い素材を基にした教材開発や体験的な活動を取り入れた科学的な探究活動の工夫  
 ・観察・実験の結果を分析・解釈し、根拠と理由を明確にして考えを説明する活動の充実
- 〔中学校〕(国語科) ・複数の本や資料から重要語句やポイントを取り出し、それに関する自分の考えを具体的に書かせる活動の工夫  
 ・伝えたい事柄が相手に明確に伝わるような書き方や話し合い活動の工夫
- (数学科) ・改善されない問題の誤答傾向を捉え、原理・法則についての理解を深める発問や話し合い活動等の工夫  
 ・結論を導くために、図やグラフのどの部分に着目し分析すればよいか考えさせ、事象を数理的に捉える見方や考え方を育成  
 指導の充実
- (理科) ・観察・実験を企画し予想をする際に、複数の条件から対照となる条件に気付かせるなどの科学的に探究する指導の工夫  
 ・予想や考察などを自分の言葉でノートに書いてから話し合いを行うなど、生徒一人一人がしっかりと考える活動の充実
- 〔全 体〕 ・学習意欲を高めるための問題解決的な「めあて」の設定  
 ・話し合い活動を取り入れ、自分の考えをノートに書かせ、見え消しや付け加えなどで修正させる活動等による子供の思考・判断・表現力の育成  
 ・鹿児島学習定着度調査や全国学力・学習状況調査の中で定着の低い問題及び「かごしま学力向上Webシステム」の問題等を活用し、基礎的・基本的な知識・技能の確実な定着や活用する力の育成  
 ・家庭学習の手引きを基にした宅習の内容や方法の指導及び児童生徒が調べたり文章を書いたりする宿題の追加  
 ・家庭と連携した他者の話を聞く態度の育成

【別紙様式】

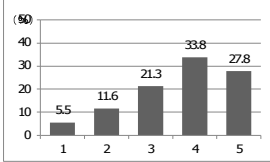
平成27年度全国学力・学習状況調査結果について  
(正答率分布グラフ, 課題, 改善策)

日置市教育委員会

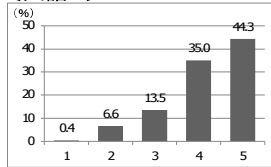
【小学校】  
〔国語A〕



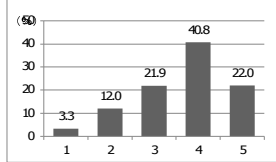
〔国語B〕



【中学校】  
〔国語A〕



〔国語B〕



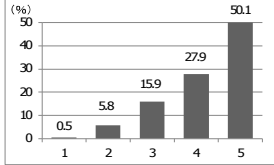
〈課題〉

- 5段階の分布状況については、国語Aは改善の傾向が見られるが、国語Bに依然課題がある状況にある。
- 基礎的・基本的な知識・技能の定着状況に不十分なものがあり、指導の充実が求められる。
- 目的に応じて中心となる語や文を捉える力は付けてきているが、文章と図とを関連付けて自分の考えを書くことについて課題がある。

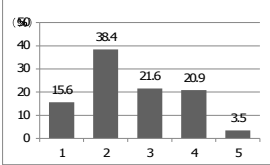
〈課題〉

- 5段階の分布状況については、国語Aは改善が見られる。国語Bは無解答をなくす等、底上げが必要である。
- 基礎的・基本的な知識・技能を生かして表現したり活用したりする指導の充実が求められる。
- 複数の資料を比較して読み要旨を捉えたり、事実や事柄が明確に伝わるように書いたりすることについて課題がある。

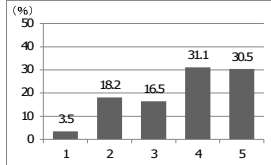
〔算数A〕



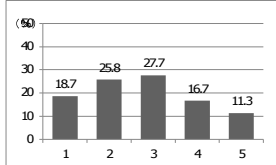
〔算数B〕



〔数学A〕



〔数学B〕



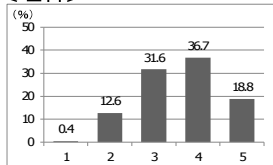
〈課題〉

- 5段階の分布状況については、算数Aは改善の傾向が見られる。算数Bは問題の理解や誤答が多くみられる。
- 図形の性質を基に、角度や長さの値が成立することを記述することに課題がある。
- 示された条件や情報を基に、判断し理由を記述することに課題が見られる。全学年を通じて論理的に表現する指導の充実が求められる。

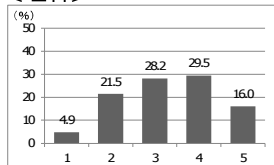
〈課題〉

- 5段階の分布状況については、数学Aは二極化が見られ、数学Bは上位群の伸び悩みの傾向が見られる。
- 文字式や図形の構成要素など、身に付けておかなければ後の学習に影響を及ぼす内容の習得に課題がある。
- 構想を立てて証明したり、問題解決の方法を数学的に説明したりすることに課題がある。

〔理科〕



〔理科〕



〈課題〉

- 5段階の分布状況については、無解答率も低く右肩上りの傾向が見られる。さらに上位層の底上げが必要である。
- 器具の名称等は理解しているが、実験結果を基に考察して分析することに課題がある。
- 科学的な用語や概念を使用して、自然の事物・現象について考察したり説明したりすることに課題がある。

〈課題〉

- 5段階の分布状況については、中位層が多く上位層が伸び悩んでいる状況にある。無解答率も高いのが課題である。
- 他者の考えた実験の方法を検討して改善し、適切な方法を説明することに課題がある。
- 実験の結果を分析して解釈し、自分の言葉でまとめる等記述することに課題がある。

【改善策】

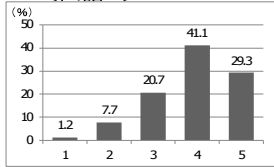
- 今後、以下のことを、本市の学力向上施策の重点事項とする。
- 〔小学校〕 (国語科) 単元及び指導過程の評価規準を適切に設定した授業の充実  
 (算数科) 指導事項等と結び付く単元を貫く言語活動を位置付けた指導の充実  
 (理科) 算数科における言語活動を重視した指導の充実  
 見通しをもち、筋道立てて問題を解決したり振り返りする学習活動の充実  
 観察・実験のデータを分析し、根拠や理由を明らかにして考えを説明する活動の重視  
 協働的な学習を工夫し、主体的に探究できる学習の充実
- 〔中学校〕 (国語科) 「伝統的な言語文化に関する指導」を中心に小学校との接続や連携を重視した指導の充実  
 (数学科) 多様な本や資料を読むことに結び付ける指導の充実  
 (理科) 実生活の場面に結びつける数学的活動を意図した授業の充実  
 事象を数学的に解釈し、問題解決の方法を数学的に説明する活動の充実  
 協働的な学習を工夫し、主体的に探究できる学習の充実  
 理科を学ぶことの意義や有用性を実感できるような活動の重視

【別紙様式】

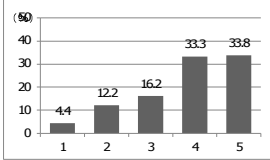
平成27年度全国学力・学習状況調査結果について  
(正答率分布グラフ, 課題, 改善策)

いちき串木野市教育委員会

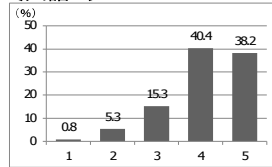
【小学校】  
〔国語A〕



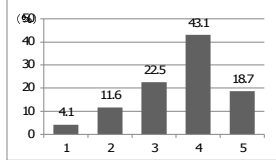
〔国語B〕



【中学校】  
〔国語A〕



〔国語B〕



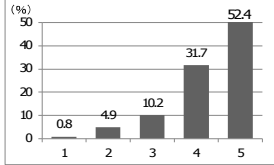
〈課題〉

- 5段階の分布状況については、国語Aと比較して国語Bで「5」の層が多く見られ、思考や活用する力について、一定の定着が図られている状況にあると言える。
- 思考や活用する力を伸ばす指導のさらなる充実が求められる。
- 内容における主な課題は次のとおりである。  
文の中における主語を捉える。文章の中で筆者が引用している言葉を書き抜く。意図や目的に応じ見出しを付ける。

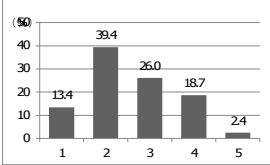
〈課題〉

- 5段階の分布状況については、国語Bにおいて「4」及び「5」の層の合計が61.8%との結果が見られ、思考や活用する力について、一定の定着が図られている状況にあると言える。
- 思考や活用する力を伸ばす指導のさらなる充実が求められる。
- 内容における主な課題は次のとおりである。  
伝えたい事柄が相手に伝わるように書く。単語の類別。語句の意味を理解し、文脈の中で適切に使う。

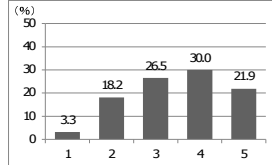
〔算数A〕



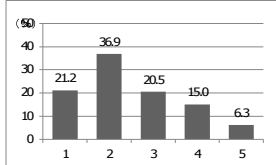
〔算数B〕



〔数学A〕



〔数学B〕



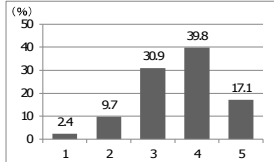
〈課題〉

- 5段階の分布状況については、算数Aと比較して算数Bで下位層が多い傾向が見られ、活用力が十分でない状況にあると言える。
- 思考や活用する力を伸ばす指導の充実が求められる。
- 内容における主な課題は次のとおりである。  
単位となる小数いくつ分で小数の大きさを表す。異分母の分数の減法。指定された時刻を求める。180°よりも大きな角の大きさを求める。三角形や平行四辺形の作図の約束や図形の性質。

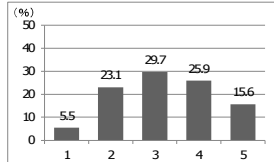
〈課題〉

- 5段階の分布状況では数学Aと比べ数学Bで下位層が多い傾向が見られ、活用する力が十分でない状況にあると言える。
- 思考や活用する力を伸ばす指導の充実が求められる。
- 内容における主な課題は次のとおりである。  
事柄が成り立つ理由を、構想を立てて説明する。証明を振り返り、新たな性質を見出す。発展的に考え、条件を変えた場合について証明する。必要な情報を選択し、的確に処理する。

〔理科〕



〔理科〕



〈課題〉

- 5段階の分布状況については、「4」及び「5」の層の合計が56.9%との結果が見られ、学習内容が概ね定着している状況にあると言える。
- 個に応じた指導による中位層の底上げが求められる。
- 内容における主な課題は次のとおりである。  
顕微鏡の名称及び適切な操作方法。メスリンダーで一定量の水を測り取る適切な扱い方。星座や雲の動きについての考察。

〈課題〉

- 5段階の分布状況では、中位層により集中している傾向が見られ、学習内容の一層の定着を必要とする状況にあると言える。
- 下位層・中位層への個に応じた指導の充実が求められる。
- 内容における主な課題は次のとおりである。  
グラフを分析して解釈し、化学変化について正しく読み取る。課題を解決するための実験を計画する。観察や実験の結果から新たな問題を見つけ、適切な課題を設定する。

【改善策】

○ 今後、以下に示す事項について、本市の学力向上策の重点として取り組んでいく。

- 〔全 体〕(各教科)・毎時間の分ける授業の充実にも努め、習熟度に応じた学習指導を徹底していく。  
・個別の課題追究の時間の確保や、個別の補充学習等、個に応じた指導の充実を図る。

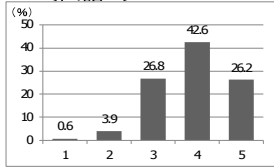
- 〔小学校〕(国語科)・重要語句の意味や用法を理解し、会話や作文の中で適切に用いる活動の充実。  
・目的に応じて話し合い、観念に沿った質問や意見交換をする指導の充実。  
(算数科)・単位の意味や単位換算等の習熟の徹底を図る指導の充実。  
・基本的な作図の技法を身に付け適切に活用できる技能の向上を図る指導の充実。  
(理 科)・実験器具についての基礎的な知識・技能及び、天体の動きについて観察者の位置と関連づけた指導の充実。
- 〔中学校〕(国語科)・目的に沿って話し合い、互いの発言の意味を考え意見の交流を図る話し合い活動の充実。  
・基礎的な文法事項を習得し、適切に活用するための指導の充実。  
(数学科)・証明したり根拠を基に説明したりするための、基礎的な学習内容の確かな定着を図る指導の充実。  
・必要な情報を取捨選択し、見通しを立てて証明する活動の充実。  
(理 科)・表とグラフを関連付けて数字の意味を読み取らせたり、見通しをもって実験を計画させたりする指導の充実。

【別紙様式】

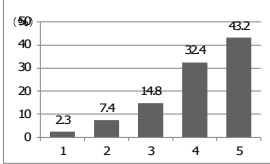
平成27年度全国学力・学習状況調査結果について  
(正答率分布グラフ, 課題, 改善策)

枕崎市教育委員会

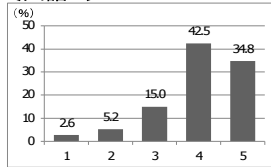
【小学校】  
〔国語A〕



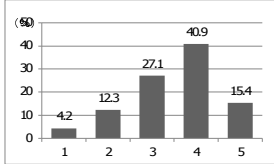
〔国語B〕



【中学校】  
〔国語A〕



〔国語B〕



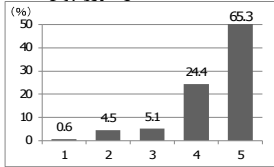
〈課題〉

- ・5段階の分布では、国語Aは、4段階以上の児童が約70%、国語Bは75%を超えている。下位層で知識の定着が必要な状況にあると言える。
- ・漢字の読み、書きに依然として課題が見られる。
- ・文を構成する主語と述語の照応関係を捉えることに課題が見られる。

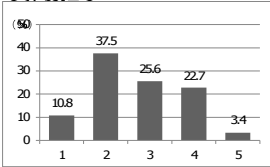
〈課題〉

- ・5段階の分布では、国語Aは、4段階以上の生徒が約80%、国語Bは約56%であり、中・下位層を引き上げる指導の充実が必要な状況にあると言える。
- ・伝えたい事柄が相手に効果的に伝わるように書くことに課題が見られる。
- ・単語の種別について理解することに課題が見られる。

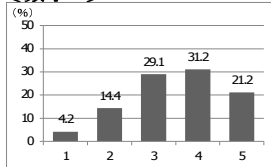
〔算数A〕



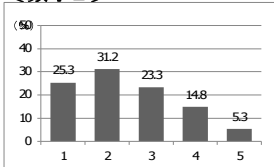
〔算数B〕



〔数学A〕



〔数学B〕



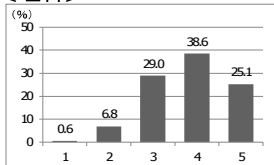
〈課題〉

- ・5段階の分布では、算数Aは、4段階以上が約90%であり、定着が図られているが、算数Bでは、2段階以下の児童が49%であり、下位層の活用力を高めるための授業改善が必要である。
- ・図形の性質を活用したり、処理したりすることに課題が見られる。
- ・概数を用いた資料を基に結果を正しく解釈することに課題が見られる。

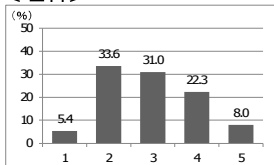
〈課題〉

- ・5段階の分布では、数学Aは、4段階以上が52%であるが、2段階以下の生徒も19%いる。数学Bでは、2段階以下の生徒が57%であり、下位層を引き上げる指導の充実が必要である。
- ・数や図形の性質について、構想を立てて説明したり、発展的に考えたりすることに課題が見られる。
- ・数量の関係から立式したり、処理することに課題が見られる。

〔理科〕



〔理科〕



〈課題〉

- ・5段階の分布では、4段階以上の児童が約65%であり、定着が図られている状況にあると言える。
- ・実験・観察により得られた結果を基に考察して分析することに課題が見られる。

〈課題〉

- ・5段階の分布では、4段階以上の生徒が30%、2段階以下が約40%であり、上位層を伸ばすための授業改善の工夫と下位層を引き上げる指導の充実が必要な状況にあると言える。
- ・予想や仮説を設定し、検証する実験を計画することに課題が見られる。
- ・実験の結果から平均値を求めて、比較して考えることに課題が見られる。

【改善策】

○ 今後、以下の示す事項について、本市の学力向上施策の実施の重点として取り扱うようにしていく。

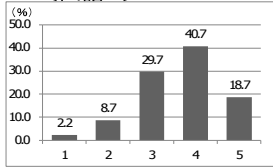
- 〔小学校〕(国語科)・語句の役割や語句相互の関係に注意し、文の構成を理解する指導の充実
- ・文章と図やグラフなどとの関係やその効果を捉え、自分の考えをまとめる指導の充実
- (算数科)・根拠となる事柄を話し合わせたり、よりよい説明に表現し直したりする指導の重視
- ・概数や概算を活用し、目的に応じて用いたり、適切に判断したりする活動の充実
- (理科)・観察・実験のデータを分析し、変化と要因を関連付けて考えを丁寧に説明する活動の重視
- ・対象や目的の状況を的確に捉え、実験・観察器具を適切に操作する活動の重視
- 〔中学校〕(国語科)・伝えたい事柄が相手に効果的に伝わるように文章を工夫して書く指導の充実
- ・多様な方法で目的や意図に応じて情報を収集する中で、情報を整理する指導の充実
- (数学科)・事柄が成り立つ理由について見通しをもち、根拠を明らかにする活動の充実
- ・正の数と負の数の意味を、実生活の場面と結びつける活動の重視
- (理科)・理科の学習と日常生活や社会の特定の場面との関連を意識した活動の重視
- ・協働的な学習を積極的にに行い、主体的に探究できる学習の充実

【別紙様式】

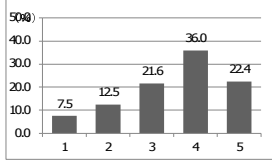
平成27年度全国学力・学習状況調査結果について  
(正答率分布グラフ, 課題, 改善策)

指宿市教育委員会

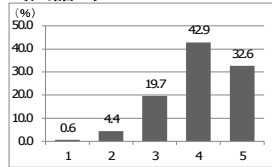
【小学校】  
〔国語A〕



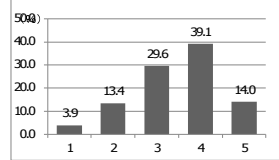
〔国語B〕



【中学校】  
〔国語A〕



〔国語B〕



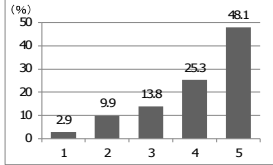
〈課題〉

- ・5段階の分布では、国語A・Bともに、5や4の児童が60%以下となっており、Aでは中位層、Bでは下位層が多い傾向が見られる。
- ・学年別漢字配当表に示されている漢字を正しく書くことについて課題がある。
- ・登場人物の気持ちの変化を想像しながら音読し、声に出して読むときの工夫とその理由を書くことについて課題がある。

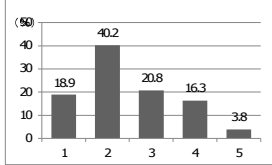
〈課題〉

- ・5段階の分布では、国語Aは、5や4の生徒が75%を超え、定着が図られているが、国語Bは上位層が少なく、下位層が多い傾向が見られる。
- ・用いられている表現の工夫(技法)について理解することに課題がある。
- ・文章の中心的な部分と付加的な部分などを読み分け、要旨を捉えることについて課題がある。

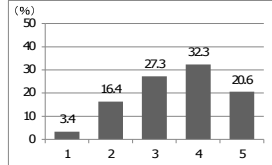
〔算数A〕



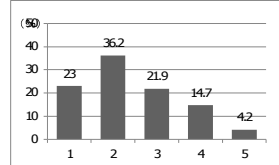
〔算数B〕



〔数学A〕



〔数学B〕



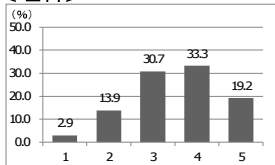
〈課題〉

- ・5段階の分布では、算数Aは5や4の児童が70%以上となっているが、算数Bでは2にピークがあり、下位層の多い傾向が見られる。
- ・除数が整数である場合の分数の除法の計算に課題がある。
- ・示された割り引き後の値段の求め方の中から誤りを指摘し、正しい求め方と答えを記述することについて課題がある。

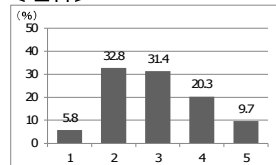
〈課題〉

- ・5段階の分布では、数学Aは4がピークとなっており上位層の伸び悩みがあり、数学Bでは1や2の生徒が半数以上となっており下位層の多い傾向が見られる。
- ・証明の根拠として用いられている三角形の合同条件を理解することについて課題がある。
- ・事柄が成り立つ理由を、構想を立てて説明することについて課題がある。

〔理科〕



〔理科〕



〈課題〉

- ・5段階の分布では、3や4の児童が60%以上となっており、中位層が多く、上位層が少ない傾向が見られる。
- ・析出する砂糖の量について分析するために、グラフを基に考察し、その内容を記述することについて課題がある。
- ・予想が一致した場合に得られる結果を見通して実験を構想することについて課題がある。

〈課題〉

- ・5段階の分布では、3や4の児童が60%以上となっており、中位層が多く、上位層が少ない傾向が見られる。
- ・炭酸水素ナトリウムが二酸化炭素の発生に関係することを特定する対照実験を計画することについて課題がある。
- ・実験の結果を分析して解釈し、働きを説明した記述を適切に判断することに課題がある。

【改善策】

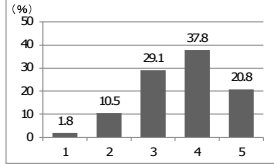
- 今後、以下に示す事項について、本市の学力向上施策の重点として取り扱うようにしていく。
- 〔小学校〕(国語科)・身の回りにある新聞などから習った漢字を探す活動を設けるなど、漢字を読んだり書いたりする機会の意図的・計画的な設定  
 ・繰り返し音読をすることで、登場人物の気持ちの変化を捉えることができるようにする指導の充実  
 (算数科)・分数の計算の意味を基に計算の仕方を話合うなど、分数÷整数の計算の仕方を確実に理解できるようにする指導の充実  
 ・考えが誤りやすい場面で、考えを批判的に考察するなど、考えを表現し直すことができるようにする指導の充実  
 (理科) ・予想や考察を具体的な数値と結びつけながら考えるなど、変化とその要因を関連付けて考えることができるようにする指導の充実
- 〔中学校〕(国語科)・語句の辞書的な意味を基にして、文脈に即して意味を捉えることができるようにする指導の充実  
 ・論の展開の中心部分と付加的な部分とを読み分けて理解するなど、目的に応じて要旨を捉えることができるようにする指導  
 (数学科) ・証明の根拠の用いられ方を確認するなどして、証明の根拠として三角形の合同条件を指摘することができるようにする指導の充実  
 ・文字式や言葉を用いて、事柄が成り立つ理由を、構想を立て、根拠を明らかにして説明することができるようにする指導の充実  
 (理科) ・調べたい条件以外は、全て同じ条件にするなど、課題に正対した対照実験ができるようにする指導の充実

【別紙様式】

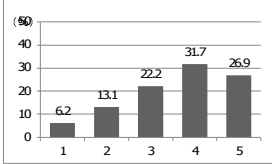
平成27年度全国学力・学習状況調査結果について  
(正答率分布グラフ, 課題, 改善策)

南さつま市教育委員会

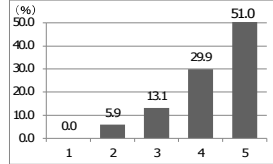
【小学校】  
〔国語A〕



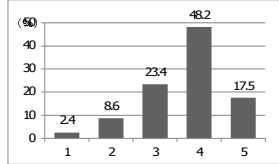
〔国語B〕



【中学校】  
〔国語A〕



〔国語B〕



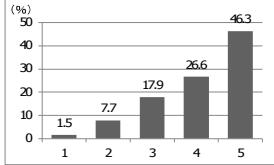
〈課題〉

- ・5段階の分布状況については、A問題もB問題も上位層が少ない傾向が見られる。上位層へ配慮した指導の充実が求められる。
- ・基礎的な用語を理解していないために問題に対応できていない状況がある。
- ・文章構成を捉えるための基礎の部分が弱い傾向がある。
- ・目的や意図に応じ、適切に引用したり複数の内容を関係付けたりしながら、考えをまとめて書くことに課題がある。

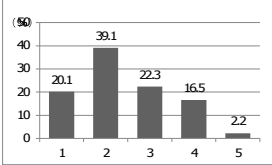
〈課題〉

- ・5段階の分布状況から、国語Aでは4、5の段階の生徒が全体の約8割、国語Bでは3～5の段階が約9割を占め、本市の生徒は基礎的な知識とそれを活用する力が身に付いていると言える。
- ・複数の資料から必要な情報を取り出し、考えを文章にまとめて書くことに課題がある。

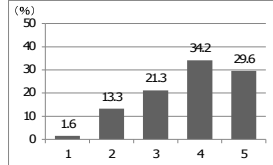
〔算数A〕



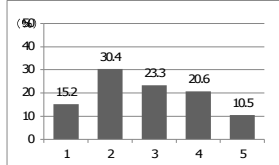
〔算数B〕



〔数学A〕



〔数学B〕



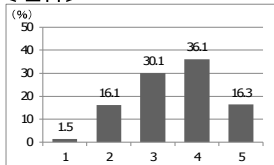
〈課題〉

- ・5段階の分布状況については、本市児童は基礎的な力は付いているが、Bではばらつきが大きく、活用する力が十分でない状況である。
- ・身の回りの事柄を数学的に表したり解釈したりすることに課題がある。
- ・場面の状況に基づいて、式の意味を理解することに課題があり、指導の充実が求められる。

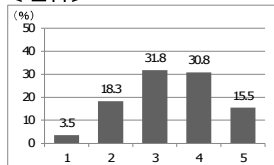
〈課題〉

- ・5段階の分布状況から、数学Aは基礎基本が定着していると言える。数学Bは低い山型でやや左寄りであることから、活用する力が十分に育っていない状況である。
- ・日常的な事象を、数量関係に着目して式やグラフに表して説明することに課題がある。
- ・図形に着目し、その特徴を構成要素の関係から捉えなおして考えることに課題がある。

〔理科〕



〔理科〕



〈課題〉

- ・5段階の分布状況については、上位層が少ない傾向が見られる。上位層へ配慮した指導の充実が求められる。
- ・対象や目的に応じて観察・実験器具を適切に操作することに課題がある。
- ・実験結果を示したグラフを基に、定量的に捉えて考察することに課題がある。

〈課題〉

- ・5段階の分布状況については、中位層が多い傾向が見られる。上位層へ移行できるよう、思考力・応用力を高める指導の充実が求められる。
- ・実験結果を分析、解釈し、規則性を見出すことに課題がある。

【改善策】

○ 今後、以下に示す事項について、本市の学力向上施策の重点として取り組んでいく。

〔小学校〕(国語科)・基礎的な用語の意味理解を徹底し、繰り返し授業で使うなどの丁寧な指導の工夫

- ・調べたことをまとめる活動において、整理の仕方を身に付けさせる指導の充実
- (算数科)・身の回りの事柄を取り上げて、式やグラフに表したり説明したりする活動の積極的導入
- ・課題解決に沿った思考のプロセスを振り返る活動の工夫
- (理科)・試行錯誤しながら観察・実験ができる十分な時間の確保
- ・仮説を大事に扱う授業及び実験方法を児童自身に考えさせる授業の工夫

〔中学校〕(国語科)・必要な情報を整理したり、得た情報を相手に分かりやすく伝えたりする言語活動の充実

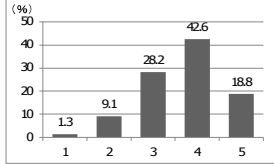
- (説明的文章)・要旨を捉えさせる指導の徹底、文学的文章:豊かな表現を味わわせる指導の徹底
- (数学科)・教科書の問題の他に、日常の事柄を式やグラフにして考える授業の工夫
- ・事象を数学的に解釈し、その考え方のプロセスを説明する活動の重視
- (理科)・生徒が主体的に仮説を立て検証する実験・観察の工夫・実践
- ・実験・観察のデータを分析し、根拠や理由を考え、他者に説明する活動の重視

【別紙様式】

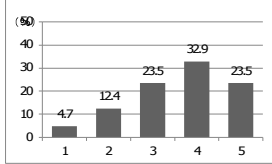
平成27年度全国学力・学習状況調査結果について  
(正答率分布グラフ, 課題, 改善策)

南九州市教育委員会

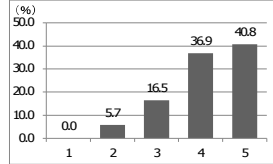
【小学校】  
〔国語A〕



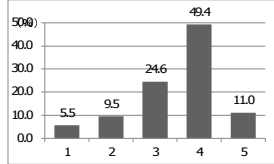
〔国語B〕



【中学校】  
〔国語A〕



〔国語B〕



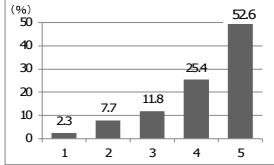
〈課題〉

- ・正答率の分布状況を全国と比較すると、ABともに段階5の上位層が少なく、段階2・3の下位層・中位層が多い傾向にある。
- ・A問題では、具体的な事例を挙げて説明する文章を書いたり、新聞のコラムを読んで表現を工夫したりする問題の正答率が低い。
- ・B問題では、文章と図とを関連付けて自分の考えを書いたり、目的や意図に応じ、取材した内容を整理しながら記事を書いたりするなど、記述式の問題の正答率が低い。

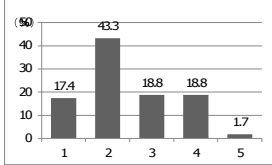
〈課題〉

- ・正答率の分布状況を全国平均と比較すると、特にB問題において、段階5の上位層が少なく、
- ・A問題では、漢字の読み書き等の定着は図られているが、伝えたい事柄が明確になるように文章の構成を考えたり、相手に効果的に伝わるように書いたりすることなどの正答率が低い。
- ・B問題では、状況に応じて資料を活用して話したり、根拠を明確にして自分の考えを書いたりすることなどについて課題がある。

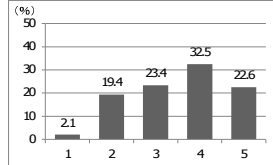
〔算数A〕



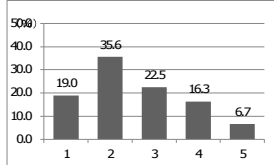
〔算数B〕



〔数学A〕



〔数学B〕



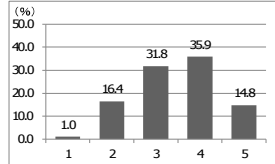
〈課題〉

- ・A問題に比べ、B問題の全国平均との差が大きい。B問題の分布状況では上位層が少なく下位層が多い傾向が顕著である。
- ・A問題では、除数が整数である場合の分数の除法計算や分度器の目盛りを読み、180度より大きい角の大きさを求める問題の正答率が低く、数量や図形についての技能面に課題がある。
- ・B問題では、誤りを見出して正しい求め方を書いたり、図形の性質を基に理由を書いたりする記述式の問題の正答率が低い。

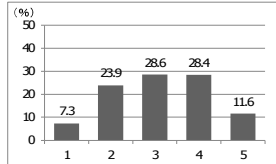
〈課題〉

- ・正答率の分布状況を全国と比較すると、特にB問題において下位層が多い傾向にある。
- ・A問題では、一次方程式や連立方程式を解いたり、式を立てたりするなどの基礎的な内容の習得が不十分である。
- ・B問題では、結果を数学的な表現を用いて説明したり、表や式を用いて問題を解決する方法を数学的に説明したりすることなどについて、依然として課題がある。

〔理科〕



〔理科〕



〈課題〉

- ・正答率は全国平均並だが、分布状況を全国と比較すると、中間層が多く、上位層が少ない傾向にある。
- ・実験器具の操作方法は身に付けているが、各部の名称を理解していない傾向がある。
- ・グラフを基に考察し、変化の理由を書く問題に課題がある。

〈課題〉

- ・正答率は県・全国平均並であるが、分布状況を比較すると、中間層が多く上位層が少ない傾向にある。
- ・選択式、短答式に比べて記述式の正答率が低い。
- ・実験方法として適さない理由を説明したり、原因を探る実験を計画したりすることに課題がある。

【改善策】

- 小学校〔国語科〕
  - ・「話す・聞くこと」「書くこと」を重視した指導を充実させる。
  - ・新聞の活用を促し、記事に対する自分の考えを書かせたり、効果的な表現方法を考えさせたりする指導を多く取り入れる。
- 〔算数科〕
  - ・数量や図形の意味、性質や問題解決の方法などを見付けたり、作り出したりする探究的な学習活動を充実させる。
  - ・答えの求め方や考え方の理由を書かせる学習活動を多く取り入れる。
- 〔理科〕
  - ・実験器具の名称等、基礎的な内容や事項の定着の徹底に努める。
  - ・観察・実験のデータを分析し、根拠や理由について説明したり書いたりする学習活動を重視する。
- 中学校〔国語科〕
  - ・伝えたい事柄を明確にしたり、相手に分かりやすくしたりするなど、相手意識を重視した「書く活動」を多く取り入れる。
  - ・目的や状況に応じて資料を活用して説明したり、話し合ったりする学習活動を取り入れる。
- 〔数学科〕
  - ・一次方程式、連立方程式等の指導を徹底するとともに、家庭学習を充実させることにより確実な定着を図る。
  - ・事象を数学的に解釈し、問題解決の方法を数学的に説明する学習活動を重視する。
- 〔理科〕
  - ・目的に応じて実験を計画したり、実験方法の正否について話し合ったりする活動を重視する。
  - ・意図的に誤った実験方法や考え方を提示し、誤りを改善して正しく説明させたり、書かせたりする指導を取り入れる。

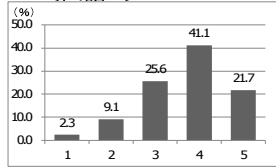


【別紙様式】

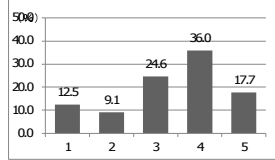
平成27年度全国学力・学習状況調査結果について  
(正答率分布グラフ, 課題, 改善策)

阿久根市教育委員会

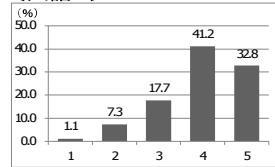
【小学校】  
〔国語A〕



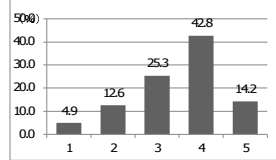
〔国語B〕



【中学校】  
〔国語A〕



〔国語B〕



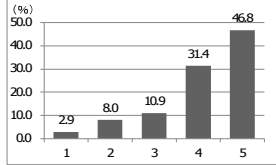
〈課題〉

・5段階の分布状況については、A問題では全国と同様の傾向が見られるが、B問題において上位層の減少傾向が大きく、児童の持つ本来の力を伸ばし切れていない状況が見られる。  
・「読むこと」において、特に表現の工夫や文章の構成を捉えること、筆者の意図を正確に読み取ること等に課題がある。  
・「書くこと」において、既習事項を活用しながら、自分の考えやその理由等についての的確に書くことが課題である。

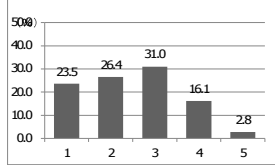
〈課題〉

・5段階の分布状況については、全国・県と同様の傾向があるが、B問題においては5段階の生徒が半数以下になっている。既習事項を十分に活用することができていない傾向が見られる。  
・観点別に見ると、自分の意見やその理由等について文章化し説明すること、手紙の書き方、言葉の使い方など、特に「書くこと」に課題があると考えられる。

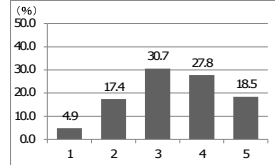
〔算数A〕



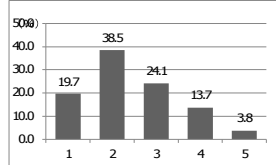
〔算数B〕



〔数学A〕



〔数学B〕



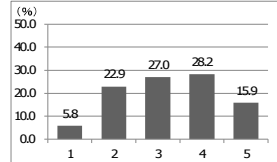
〈課題〉

・5段階の分布状況から、基礎的・基本的な内容については全国と大きな差はないが、活用する力が不十分である状況が見られる。  
・数量関係や図形領域に関する正答率が特に低く、既習事項を活用できていない児童が多い。数学的な思考、中でも演繹的な方法を用いて思考することが課題と考えられる。  
・導いた解について、条件に照らしてその正誤を確認することができていない。

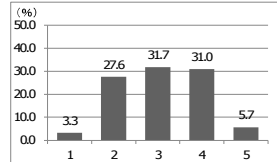
〈課題〉

・5段階の分布状況から、基礎的・基本的な内容については全国とほぼ同様の傾向が見られるが、活用する力については大きな差がある状況にある。  
・特に、数量関係や連立方程式、関数の領域について正答率が低い。小学校と同様、数学的な思考、中でも演繹的な方法を用いたり、数学的な表現を用いて説明したりすること等が課題と考えられる。

〔理科〕



〔理科〕



〈課題〉

・5段階の分布状況を全国・県と比較すると、5段階中の2、3段階の児童が多く、上位層の児童が少ない。また、無回答の割合が多い状況にある。  
・科学的な思考・表現について正答率が大きく下回っており、日常生活の中の事象と既習事項を関連させて、科学的に思考したり、分析したり、その要因について説明したりすることに課題がある。

〈課題〉

・5段階の分布状況から、全国・県と比較して5段階中の2段階の生徒が多く、最上位層が少ない状況がある。  
・気象現象の変化など、日常生活や既習事項を関連付けて科学的に思考することなどが十分とは言えない傾向にあり、実験結果等をあらゆる角度から考察したり、その要因を文章で適切に説明したりすることができていないことが課題である。

【改善策】

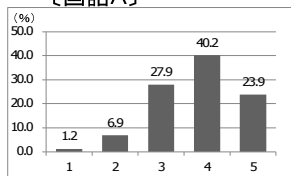
〔小学校〕(国語科) ・語句の意味を確実に理解させる工夫をした上で文章を読ませ、その文章に対する自分なりの読み取りを行わせる。その取組において、新聞記事等を活用して表現の工夫についても理解を深めさせる。意見交換では、自他の考えを比較検討する場を重視し、それぞれの考えをより深められるよう指導法の改善を図る。また、読解力向上に向け、必読書の読破にも取り組ませる。  
(算数科) ・具体物等を用いた操作活動を通して、図形の特徴について確実に理解させる。また、練り上げの場が単なる方法の発表ではなく、そう考えた過程についても説明、意見交換するような場となるよう指導法の改善を図っていく。  
(理科) ・導いた解と導入時に予想した解とを必ず比較させるなどし、解を確認することの大切さに気付かせ習慣化させる。  
〔中学校〕(国語科) ・具体的な事象提示をし、児童の興味関心を喚起した上で、予想、実験・観察を行い、考察、まとめの中で自他の考えを比較検討する場を設定し、思考を深められるよう指導法の改善を図る。  
(数学科) ・語彙力を向上させるために、辞書の活用を図ったり、簡単な短文づくりを授業の中に組み入れたりなどの工夫をしていく。また、教材文や新聞等から様々な表現技法を見出し、その効果について相互に吟味するような学習を意識して行う。作者の意図を読み取り、そのことについて自分の考えを書くような場を意図的に設定する。  
(理科) ・グラフや表、数量関係について実生活を結び付けて具体的に理解させる。また、基本的な表現方法や技能について繰り返し指導し、生徒が数学的な表現を用いながら、自らの言葉で適切に説明できるような力を高めていく。  
(理科) ・事象提示を行うことで、生徒の興味関心を喚起し、予想を行う。その上で、実験・観察を行い、考察、まとめの中で自他の考えを比較検討する場を設定し、思考を深めたり、他教科と複合させたりして理解を深め、活用する力の向上を図る。

【別紙様式】

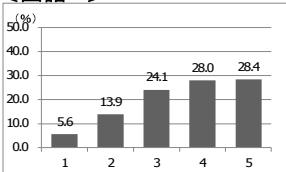
平成27年度全国学力・学習状況調査結果について  
(正答率分布グラフ, 課題, 改善策)

出水市教育委員会

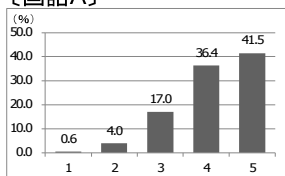
【小学校】  
〔国語A〕



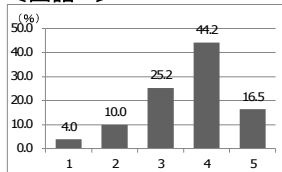
〔国語B〕



【中学校】  
〔国語A〕



〔国語B〕



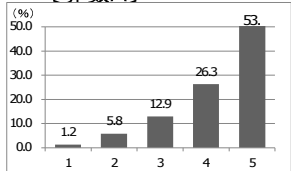
〈課題〉

- ・5段階の分布状況については、A、Bどちらも、5の段階が少なく、中位層の3の段階が多い傾向が見られ、本市児童は、基礎的な力は身に付いているが、活用する力にやや課題がある。
- ・話の内容を捉え、その内容に合わせた質問の仕方を工夫することに課題がある。
- ・記述の無回答は少なく取り組んでいるが、文章と図とを関連付けて複数の条件に合わせた文章づくりを苦手としている。

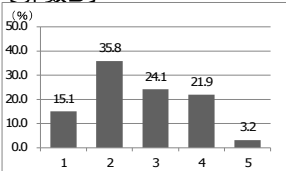
〈課題〉

- ・5段階の分布状況については、3の段階が多い傾向が見られ、上位層の生徒が少ない状況にある。
- ・形容詞や名詞などの単語の類別への理解に課題がある。
- ・自分の考えを書く等の記述の無回答は少なかったが、根拠を明確にしながらかくことに課題がある。
- ・文章の中心的な部分と付加的な部分などを読み分け、要旨を捉えることに課題がある。

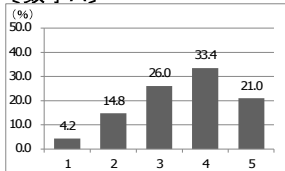
〔算数A〕



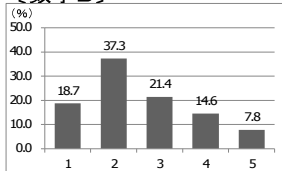
〔算数B〕



〔数学A〕



〔数学B〕



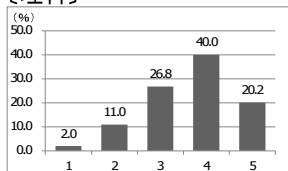
〈課題〉

- ・5段階の分布状況については、A・Bともに全国と同じ傾向にあり、基礎的・基本的な力や活用する力は概ね身に付いている。
- ・単位の異なる小数の幾つ分で小数の大きさを表すことに課題が見られる。小数の意味と大きさについて実感を伴って理解させる取組が必要である。
- ・平行四辺形の作図方法に用いられる図形の約束や性質の理解に課題が見られる。

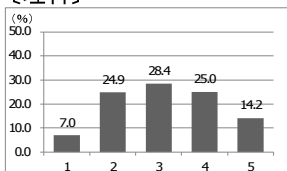
〈課題〉

- ・5段階の分布状況については、A問題は、「4」が多く、B問題については、「2」が多い傾向にある。基礎的な力は、上位者は少ないものの、概ね身に付いているが、活用の力に課題がある。
- ・小数を含む、一元1次方程式や、連立1次方程式の理解に課題がある。
- ・図形の証明を振り返り、新たな性質を見出し、発展的に考え、条件を変えた場合について考えることに課題がある。

〔理科〕



〔理科〕



〈課題〉

- ・5段階の分布状況は、「4・5」の段階が多く、本市の児童は、全国をやや上回っている。
- ・メダカの雄雌を見分ける方法などの基礎的な知識は十分身に付いているが、電磁石と磁石の同極が退け合う性質についての理解に課題がある。
- ・植物に適した栽培場所について、成長の様子と日光の当たり方を適用してその内容を記述することに課題がある。

〈課題〉

- ・5段階の分布状況については、ほぼ全国と同じ傾向にあり、本市の生徒は、概ね学力が身に付いている状況である。
- ・二酸化炭素の体積を量る場面において水上置換法では正確に量れない理由を説明することに課題がある。
- ・炭酸水素ナトリウムが二酸化炭素の発生に関係することを特定する対照実験を計画することに課題がある。

【改善策】

○本市の実態として、全国と比較した場合、小学校の国語、中学校の国語・数学については、A問題よりも活用のB問題の方がよい傾向にあった。記述については無回答が少なく、自分の考えを書くことが概ねできていたからであると考えられる。しかし、A問題の「知識・理解」については、定着が十分でない面も見られるため、以下に示す事項を本市の学力向上施策の重点として取り扱うようにする。

〔小学校〕	(国語科)	・主語や述語、引用、要約等、国語の学習に必要な用語の理解やそれらを使って活用させる指導の充実
	(算数科)	・自分の考えを整理しながら、複数の条件に合わせてまとめて書く活動の充実
	(理科)	・日常生活の中から問題場面を想起させ、算数的な活動を十分取り入れながら、数学的な言葉で表現する指導の充実
〔中学校〕	(国語科)	・対照実験を行う際に、条件を設定する理由を説明させたり、結果を考察させたりする活動の充実
	(国語科)	・複数の資料を読み比べ、要旨を捉え、根拠を明確にしながらかく自分の言葉でまとめて書く活動の充実
	(数学科)	・資料から適切な情報を得て、自分の伝えたい事実や事柄を明確に伝えるように書く活動の充実
	(数学科)	・立体や関数など基礎的な問題の系統的・計画的な復習
	(理科)	・図形の証明、確率の理由、グラフの読み取りなど、事象を数学的に説明する活動の充実
	(理科)	・実験の際に、自ら課題を設定し仮説を立て、検証方法を考える活動の充実